

ポスタータイトル：

PAX7-FOXO1 を有する胞巣状横紋筋肉腫の細胞株 NCC-aRMS1-C1 の樹立

発表者氏名 申育實¹

共著者氏名 野口玲¹、吉松有紀¹、土屋流人¹、小野拓也¹、清茜¹、桑田優¹、佐々木里菜¹、吉田朗彦²、川井章³、近藤格¹

発表者および共著者所属

¹ 国立がん研究センター研究所希少がん研究分野、² 国立がん研究センター中央病院病理科、

³ 国立がん研究センター中央病院病骨軟部腫瘍科

胞巣状横紋筋肉腫（aRMS）は融合遺伝子のタイプによって2種類（PAX3-FOXO1 と PAX7-FOXO1）に分類される。PAX3-FOXO1 を有する aRMS の細胞株は容易に入手できるが、PAX7-FOXO1 を有する aRMS の細胞株は2例しか報告がなくいずれもバイオバンクから入手できない。そのため、PAX7-FOXO1 を有する aRMS の基礎的な研究は停滞している。このたび、手術検体を用いて世界で3例目となる PAX7-FOXO1 を有する aRMS の細胞株の樹立に成功し、NCC-aRMS1-C1 と名付けた。NCC-aRMS1-C1 は緩徐な増殖能を示すものの、浸潤能およびスフェロイド形成能を有している。抗がん剤210剤をスクリーニングしたところ、5種類の抗がん剤が顕著な抗増殖能を示した。NCC-aRMS1-C1 は PAX7-FOXO1 を有する aRMS の基礎研究および前臨床研究に有用だと考えられる。

発表者 URL：https://www.ncc.go.jp/jp/ri/division/rare_cancer_research/index.html

発表者：

